

<コラム>

## 電気柵は危険？

市販されている獣害対策用の電気柵\*は、電圧（ボルト）は高められていますが、命に関わる電流（アンペア）は低く、約1秒間隔のパルス方式（間欠的）で人体に安全な状態で出力されるので心配ありません。

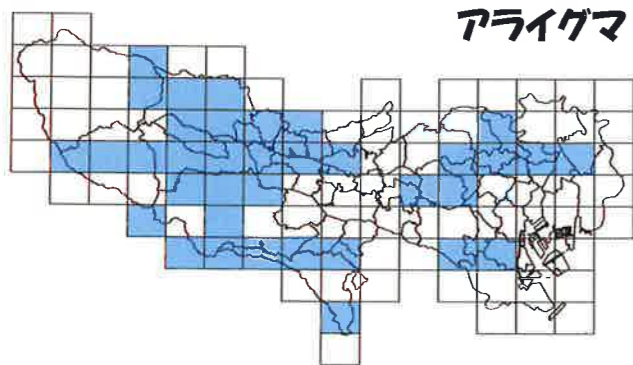
したがって、説明書通りに使用すれば、獣害対策用の市販の電気柵は安心して利用できます。

なお、以前発生した電気柵による死亡事故は、市販されている電気柵用の電源装置（本体）も使用されておらず、漏電遮断装置も使用されていませんでした。

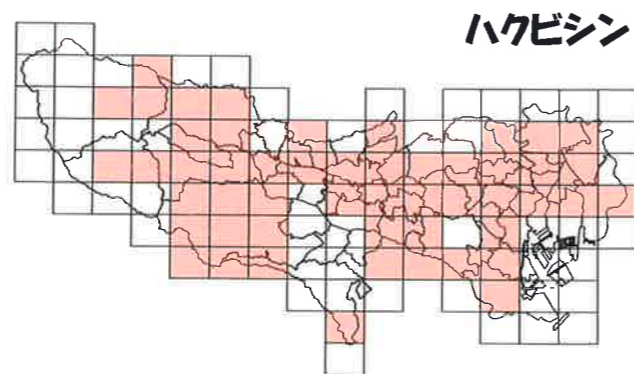
※市販の電気柵は、乾電池や専用バッテリー、ソーラーパネルなどを使用するタイプがほとんどです。この他、電気柵本体の電源を家庭用のコンセントにつないで使用できるタイプの電気柵も市販されていますが、コンセントから流れる電気をそのまま使うことはできないので、低い電流に変換した上で約1秒間隔のパルス方式（間欠的）で電気柵の電線に送電し、人が感電した場合にも、電気が体内に連続して流れない安全仕様になっています。

## 東京での分布\*と被害

アライグマやハクビシンは、近年では多摩地区から23区まで広く生息しています。また、環境適応能力が高く天敵もいないことから、個体数は増加傾向にあり、農業被害もさらに増加するおそれがあります。



捕獲地域は、多摩地域から区部に向けて広がりつつある



山間地から都心まで広い範囲で捕獲されている

※平成29年度捕獲実績（5kmメッシュ、東京都環境局調べ）

写真提供（梨、スイカ、スイートコーン被害）：

古谷 益朗氏（埼玉県農業技術研究センター）

農作物被害対策指導・写真提供（ブドウ被害）：

江口 祐輔氏（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター）

発行：東京都産業労働局農林水産部食料安全課  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号  
電話 03-5320-4834

登録番号 30 (293)

市街地での

～ 中型獣から農作物を守る～

# 農作物の獣害対策

◇痕跡から、加害獣を特定！

※体長は頭胴長

## アライグマ（アライグマ科）

体長※：42～60cm 体重：4～10kg

雑食性：野菜、果樹も食べる。東京都では、トマト、ブドウ、スイートコーン等の被害が見られる。



爪で穴をあけ、中身をくり抜くように食べる。



袋が泥で汚れている。（前足で袋をひき裂くため）



茎を倒して皮を剥き、裏側まできれいに食べる。



## タヌキ（イヌ科）

体長：50～60cm 体重：4～8kg

雑食性：野菜、果樹なども食べる。東京都では、トマト、イチゴ、スイートコーン等の被害が出ている。

- ◆木登りは不得意なので、通常は地上で農作物を食べる。
- ◆スイートコーンは、茎を倒して食べるが、アライグマと違い前足を器用に使えないため、表面の上側だけ食べ、下半分は残っていることが多い。



## ハクビシン（ジャコウネコ科）

体長：50～65cm 体重：3～4kg

雑食性：果樹、野菜も食べ、東京都ではブドウ、スイートコーン、トマト等の被害が目立つ。



木についた果実の下側が食べられている。（後ろ足で木にぶらさがって食べる）



袋が泥で汚れている。（前足で袋をひき裂くため）



茎を傾けて食べられている。



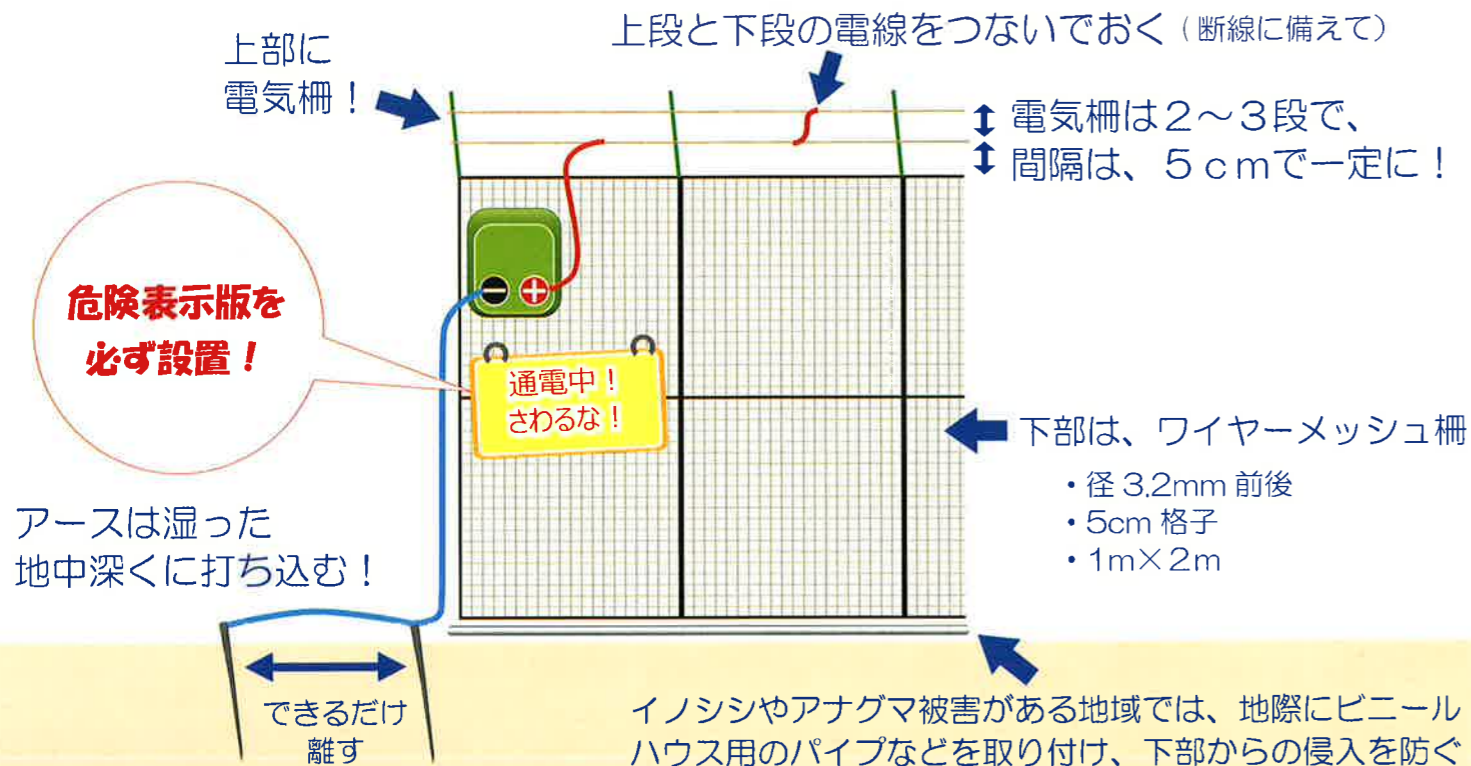
—電気柵を高い位置に設置するので—

◎ 通学路でも安心！

◎ 下草管理の労力を軽減！



# 市街地でもできる、 中型動物の侵入防止柵



## 中型動物用侵入防止柵のポイント

◎タヌキはワイヤーメッシュで物理的に防御、アライグマ、ハクビシンは、ワイヤーメッシュを登らせてから、鼻先や前足に電気ショックを与えて侵入を防ぐ！

- ① ワイヤーメッシュで柵を張り、その上に電気柵を取付ける。
- ② 歩道や小学校の通学路に電気柵を張る場合は、小学校低学年の子ども手の届かない高さ（1.5m以上）にする。
- ③ 電気柵の支柱は、グラスファイバー製のトンネル用の支柱や樹脂製の棒など、電気を通しにくい素材にする。
- ④ 電気柵の電線は、絶縁の結束バンド等で支柱に固定する。
- ⑤ 電気柵は24時間通電し、目立つ場所に危険表示版を設置する。
- ⑥ 強度を出すため、ワイヤーメッシュとワイヤーメッシュは1マス分重ねて連結するとよい。
- ⑦ ワイヤーメッシュの格子は、5cm以下\*がおすすめ。  
（※10cmでは、ハクビシン、タヌキ、アナグマなどが通過する）

<設置費用の目安> 1mあたり 950～1,050円

- ・ワイヤーメッシュ： 600円（1mあたり）
- ・ワイヤーメッシュ及び電気柵の支柱、結束バンド： 250円（1mあたり）
- ・簡易電気柵（面積が広いと割安に）： 1mあたり 100円～200円

※下部にイノシシやアナグマ対策用にパイプを取り付ける場合は、その費用も必要になります。  
※価格は平成30年度における標準価格であり、今後、変動する可能性があります。

## 電気柵で守る！

野生獣対策に電気柵は効果的です。

ただし、正しく設置しないと効果は見込めないの、  
次のポイント□をチェック！

□ 24時間通電している？



動物は昼も夜も、やってくる

□ 碍子はきちんと外向き？

※碍子：電線を支柱に固定する部品



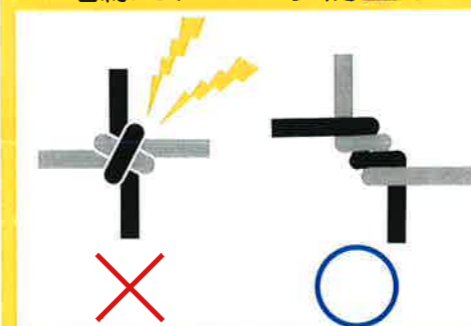
電線の支柱は外側になるように

□ 電線に草が絡んで漏電していない？



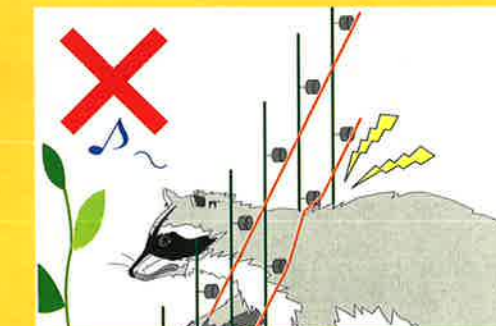
漏電により電圧ダウン

□ 電線のスパーク防止！



結ばずに、よじって繋ぐこと

□ 弱い鼻先や前肢が狙いめ！



体毛では、効果なし

□ 電圧は、4,000Vを目安にチェック！



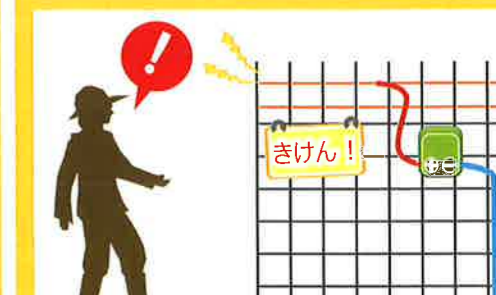
4,000V以上  
電圧チェッカー  
アース

□ アースを必ず設置！



アースは地面深く差し込む

□ 危険表示版を設置！



きけん！